

# 一日子ども 議会だより

平成30年  
8月3日(金)開催

平成30年  
一日子ども議会  
特別号

町制施行50周年記念事業



## 32個の子ども議員バッジ

未来を担う、おうらまちな子どもたちが、町民生活と行政の関わりや邑楽町が直面しているさまざまな課題を考え、町議会の模擬体験を通じて、町政への関心を深めることを目的に開催しているのが「一日子ども議会」です。

今年は、これまでの中学生議員に加えて小学生議員が初めて参加。町制施行50周年を記念してのことでした。

子ども議員バッジを着けたのは、町内6校の小中学生32人。子ども議員は町役場議場で町議会議員さんながらに、自分たちが口頭感している邑楽町に関するさまざまな疑問や提案などを、町に対して投げ掛けました。

## 堂々と重責を果たす

質問の多くは、学校や暮らしなど、子どもの目から見た身近な問題について。質問には担当課の課長が答弁した他、町長や副町長、教育長も子ども議員の質問に丁寧に答えていました。子どもたちは、子ども議会を通じて、議会のしくみを学ぶことができました。

子ども議員たちは緊張しながらも堂々と議会に臨み、その重責を果たしました。次のページから各子ども議員の質問と答弁を要約して掲載します。邑楽町の将来を担う子どもたちの声をご覧ください。

### 一般質問

## 32人の子ども議員が町の考えを問う

■一般質問（小学生議員）	8～9
■公民館などの公共施設での喫煙	10～11
■一般質問（中学生議員）	12～13
■町のグローバル化	14～15



町制施行50周年  
記念事業

平成30年度  
邑楽町一日子ども議会

# 小学生

議長・根立 光一郎 議員  
副議長・高橋 拓夢 議員

町や世の中で起こっているさまざまな出来事、自分たちの身の回りや将来のことなどを考え、子どもの視点で町へ質問や意見を出しました。

傍聴席から

## まちづくりに、子どもたちの声を！！

佐藤玲乃議員のお父さん 佐藤 宏規さん  
傍聴しているこちらが緊張してしまうくらい張り詰めた議場の空気の中で、子どもたちは堂々としていました。子どもたちには、今回の体験をこれから先、何かに生かしてほしいと思いました。また、子どもたちからの疑問や提案が何か一つでも形になって、よりよいまちづくりに繋がっていくことを切に願います。



### 1 岩瀬 妃那 議員 町の防犯について

空き家に不審者が潜んでいたり、放火されたりという事件を耳にします。邑楽町も空き家や空き地が増えてきているようです。事件が身近で起きる可能性もあります。事件を未然に防ぐ対策はされているのでしょうか。

**町回答** 空き地や空き家の相談や苦情は年々増加傾向にあります。持ち主(所有者)が町内に住んでいなかったり、所有者が死亡して後を継ぐ人(相続人)が決まっていないケースがほとんどです。町では所有者や相続人に直接会ったり、電話をしたり、手紙を出して空き地や空き家の適切な管理をお願いしています。



### 2 後藤 陸 議員 町の土地の利用について

高島地区は、他の地区と比べて土地はあるのに子どもが遊べる施設が少ないと思います。ヤングプラザのような施設が他にもあると、放課後や休日にもっと外で遊べるといいと思います。施設を造るような計画はありませんか。

**町回答** 土地利用には解決しなければならない課題があります。施設をどんどん造るといよりは、今ある施設を有効に使った上で本当に新しい施設が必要なのか、みんなに賛成してもらえるものなのかなどを勉強したり相談したりしながら周りの人を巻き込んで大きな声にしていくと実現の可能性が高まっていくと思います。



### 3 高橋 拓夢 議員 自然災害への対策について

大阪府の小学生が亡くなった事故を受けて、ブロック塀の取り壊しや建て直しが行われています。いつどこで起きるか分からない自然災害への対策はどうしていますか。私たち小学生にできることはありますか。

**町回答** 町では地域防災計画を作ったり、2年に1回ですが防災訓練を行ったりして、自然災害の発生に備えています。いざという時のための備えは、家庭でもできます。本年2月に新しく作り全戸配布した防災マップ(ハザードマップ)には家族の情報や避難する場所などを書き込むページがありますので、参考にしてください。



### 4 船橋 乃愛 議員 未来の邑楽町について

高島小学校では全校児童の人数がどんどん減ってきています。これは、町全体に言えることではないでしょうか。どうすれば人口は増えますか。将来的に町の人口を増やすためにどのような政策をとっていますか。

**町回答** 人口減少問題は邑楽町だけでなく全国の自治体が頭を悩ます非常に大きな問題です。町では、子育てや教育、買い物など生活しやすい環境を整え、魅力あるまちづくりを進めています。船橋議員が成人しても、町にずっと住み続けてもらえるようなまちづくりを目指して、消滅都市にならないよう頑張っていきます。



### 5 新井 隆勢 議員 町の地域地震対策について

地震による事故が多発し、中でも屋根瓦の落下は身近なものに感じます。町内には瓦屋根の家が見られますが、大きな地震が起きたら落ちてきて、事故につながる可能性があります。建物に対する地震対策は。

**町回答** 木造住宅の耐震性の診断を行うための「木造住宅耐震診断者派遣」や、耐震性のある住宅にリフォームする際に補助を行う「木造住宅耐震改修補助事業」により、耐震診断・改修の促進を図って、地震に強いまちづくりを推進しています。地震が起こったときの対策や揺れやすさを示した防災マップも策定しました。



### 6 有坂 心海 議員 通学路の安全について

通学路で通る交差点には信号機がありません。朝は旗当番さんがいてくれますが、通勤する車が多い時間帯なので横断するのが大変です。町内にはこのような場所がいくつもあると思います。通学路の安全対策は。

**町回答** 各学校・行政区からの改善要望に対し危険箇所の点検や対策協議を通学路安全推進会議で行っています。教育委員会や警察署、道路管理の担当者などで組織しています。ご指摘の通学路周辺では、歩道の整備工事を現在行っています。今後も、通学路の変更を含めた交通安全対策を進めていきます。



### 7 森戸 海璃 議員 通学路について

通学路の中には白線だけが引いてある細い道があります。道が狭いので車の後ろを歩く人が白線から出てしまうことがあります。車にも迷惑が掛かっていると思います。このままでは事故が起きてしまうかもしれません。

**町回答** 道路の幅を広くする工事を行うためには、広げるための土地の購入が必要です。土地の所有者の理解が得られた上で工事を進めていく訳ですが、その土地代や工事そのものの費用など多くのお金が必要となります。道路を整備するために使える予算の範囲内で、理解と協力が整った箇所から順次整備を進めていきます。



### 8 吉田 哲理 議員 公民館などの公共施設の喫煙について

長柄公民館の駐輪場近くでたばこを吸っている人をよく見かけます。学校や公共施設の敷地内を完全禁煙にした方がいいと思うのですが、町はどのように考えていますか。また、中央公民館はどうなのでしょう。

**町回答** 社会教育施設では、喫煙可能な場所を駐輪場などに移動した経緯があります。中央公民館は現在のところ他の施設と同様に、玄関から離れた屋外に喫煙スペースを設けています。受動喫煙防止法改正の趣旨を踏まえて、敷地内禁煙も検討していきます。



### 9 岡島 慶至 議員 交通安全対策について

鶉地区の中には道路の白線が消えかかっているところがたくさんあるように思います。線が見えないので車道を歩いている人もいて、危険です。車と接触事故が起きてからでは遅いと思います。

**町回答** 引いていないところや消えかかっているところは、なるべく早く引き直したいところではありますが、お金のかかる話であり、毎年使えるお金が決まっていることから、一度に全ての場所を引き直すことができません。そこで、優先順位を付けて、必要などから順番に引き直しを行っています。



### 10 佐藤 玲乃 議員 学校のプールについて

中野東小学校のプールは所々壊れそうなどころがあります。大阪府の地震でプールのブロック塀が崩れて亡くなってしまった小学生がいます。町内のプールなどの施設の安全確認はできているのでしょうか。

**町回答** 事故を受けて、町内小中学校にあるブロック塀について、塀の高さや造りがどのようになっているのか確認しました。結果、国の基準に合わないと思われるブロック塀には近づかないようにして欲しいとお願ひし、同時に、それらブロック塀の改修についても手配を進め、すでに取り壊したところもあります。



### 11 石崎 あずさ 議員 交通安全対策の強化について

中野東小学校の西側の道路は交通量が多く、信号が黄色でも走り抜けていく車を見ます。信号近くには児童横断の注意を促す看板が一枚だけ立てられています。朝の登校時間は通勤時間と重なって、より危険と感じます。

**町回答** 指摘の場所は、昨年の通学路安全推進会議で取り上げられていて、対策として路面に「学童注意」の注意を促す文字を書いた場所になります。交差点の南北に書いてありますので確認してみてください。交通指導員や警察署による注意喚起や指導も行っていますが、交通事故を無くすには皆さん一人一人の協力も必要です。



### 12 中村 南帆 議員 街灯の設置について

鶉地区は、中野東小学校近くの明野地区や新中野地区と比べて街灯の数が少ないと思います。冬の夕方は暗くなるのが早いで真暗です。不審者が出ていっていると聞くと怖いです。通学路の街灯の数を増やすことはできますか。

**町回答** 町内の街灯は全てLED化を済ませていますが、設置する工事や設置後の維持管理にはお金がかかります。また、街灯の設置は近くに住民の生活環境にも関わってきます。設置した街灯が無駄だったとならないように、設置にはさまざまな人と慎重に協議を重ねる必要があります。まずは区長さんへ相談してください。



### 13 飯島 暖太 議員 歩道の安全の確保について

「車が登校班の列に突っ込んだ」というニュースを見たことがあります。中野小学校の東側の県道は、歩道が狭くなっていて、トラックなど大型自動車を通ると、ぶつかりそうなくらい「すれすれ」のときがあります。

**町回答** 歩道整備は重要な交通安全対策の一つとして整備を進めているところです。予算や用地確保など準備の整った箇所から順次進めています。また、指摘の場所は、群馬県が現在少しずつ歩道の設置を進めています。できるだけ早期に整備していただけるよう、引き続き要望を行っていきます。



### 14 根岸 由羽 議員 通学路にあるブロック塀について

前瀬戸宿の通学路では、左右が民家のブロック塀になっています。「大阪府の事故のようなことが町内で起こったら…」と思うと、とても怖いです。町内の通学路にあるブロック塀の安全性の確認は、どのくらいできていますか。

**町回答** 町では通学路にどのくらい危険性があるのかを点検し、危険性を感じる場所があることを確認しています。ただ、町の持ち物ではないブロック塀について町から安全性を高めるような工事を強制することはできない状況です。通学路の途中にある高いブロック塀の近くを歩くときには注意を払っていただきたいと思います。



### 15 根立 光一郎 議員 町の商店について

中野地区には薬局が多いです。しかし、私たち小学生は薬局よりも書店がほしいと思っています。町には素晴らしい図書館がありますが、新しい雑誌やマンガなどはすぐには入りません。何より本と一緒に文房具などが買えません。

**町回答** 町には書店や文房具専門店は一軒もありませんが、そういった商業施設整備は大変重要だと考えています。第6次総合計画など、長期的な計画の中で、商業の振興について取り組んでいるところです。活気のあるまちにするために、各関係機関と連携・協議しながら、調査研究したいと考えています。



### 16 濱野 未勾 議員 信号機の設置について

信号機はどのように付けられるのでしょうか。家の近くに事故が起きやすい交差点があります。一時停止でしっかりと止まらない車やバイクにいつも「ひやひや」しています。信号機を付ける基準はあるのでしょうか。

**町回答** 信号機は群馬県警察本部を管理する群馬県公安委員会が設置が必要か否かを判断します。設置を希望する場合は、まず、町が大泉警察署に「どこどこへ信号機を設置してほしい」という要望書を提出します。要望は、地域のことをよく知っている行政区の区長さんを通じて町に提出していただいています。



たばこを吸わない人が、他人のたばこの煙（副流煙）を吸うことを「受動喫煙」といいます。受動喫煙を防ぐため、多くの人が集まる場所で、たばこを吸わないようにする取り組みが進められています。吉田哲理議員の一般質問から考えます。



吉田 哲理 議員  
長柄小学校(坪谷・22区)

## 「敷地内禁煙」を進める

「たばこを吸う人を完全に無視することはできない」

私は、学校の近くの長柄公民館によく行きます。すると駐輪場の近くで、たばこを吸っている人をよく見かけます。公共施設ですし、子どももたくさんいます。中には私みたいに、たばこの臭いや煙が嫌な人もいます。たばこの分煙は受動喫煙を防ぐことはできないとWHO（世界保健機関）の報告もあります。学校や公共施設の敷地内を完全禁煙にした方がいいと思うのですが、町としてはどのように考えていますか。また、新しくできた中央公民館はどうなのでしょう。

**町回答** 健康福祉課 橋本恵子課長  
たばこはお茶やコーヒーと同じ嗜好品です。たばこ自体が法律で禁止されているものではないので、たばこを吸う人のことを完全に無視することはできません。その一方で、たばこは健康を害することが医学的に証明されています。自分が吸って自分の健康を害することは自己責任といえることもできますが、それが他の人にも害を与えることに

なっていないけません。ご指摘の公民館など社会教育施設については、以前は建物内でも喫煙が可能でしたが、玄関の外に移動しました。それでも出入りする人にとって迷惑だということで、さらに玄関から離れた駐輪場などに移動したという経緯があります。中央公民館についても、現在のところ他の施設と同様に、玄関から離れた屋外に喫煙スペースを設けています。「敷地内禁煙にしては・・・」というご提案ですが、全国的にもそういう施設が増えてきています。受動喫煙を防止するために「健康増進法」が改正され、学校や病院、それに行政機関などは敷地内禁煙になります。町としても敷地内禁煙に向けて準備を進めています。また、町では「町民一人一人が生涯にわたり健康で豊かな生活を送れるように健康増進を推進して



正面玄関から23m離れる中央公民館の喫煙スペース

いく」という邑楽町健康増進計画「健康おうら21」を策定しています。この中で喫煙に対して「公共の場や職場における禁煙・分煙対策に努めます」「喫煙や受動喫煙が健康に与える影響と危険性についての啓発をし、知識の普及を図り、禁煙支援をします」とうたっています。この計画に沿って、受動喫煙防止の対策とともに、町民が喫煙のリスクを学習する機会を確保するなど、健康面からの対策も進めていきたいと思っています。

## 受動喫煙対策は「世界最低レベル」の日本で改正健康増進法が成立

WHO（世界保健機関）は、健康リスクの啓発活動に力を注いでいるものの、世界人口の約20%の人がたばこを吸い、それが原因で年間700万人が死亡しているとしています。そしてWHOの評価では日本の受動喫煙対策は「世界最低レベル」と指摘されています。

そんな中、日本では受動喫煙対策を強化する「改正健康増進法」が7

月に成立しました。多くの人が利用する建物内を原則禁煙にし、違反があった場合は罰則が科せられることとなります。東京オリンピック・パラリンピック開催前の2020年4月に全面施行されます。計画では、来年夏をめどに学校や病院、役場などの行政機関が原則敷地内完全禁煙になります【図1】。

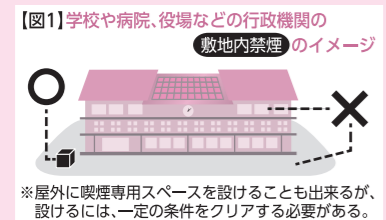
まない受動喫煙を無くすという観点から、適切な措置をする必要があると考えています。町内の生涯学習施設と連携を図りながら、予算措置なども考慮し、具体的な対応を講じていきます」と話しました。



町役場庁舎1階にある喫煙スペース。ドアで空間を仕切ることができるが、ドアを開けるとたばこの臭いが庁舎内に流れ込んでくる

具体的な対応はこれから。受動喫煙を無くすための措置を

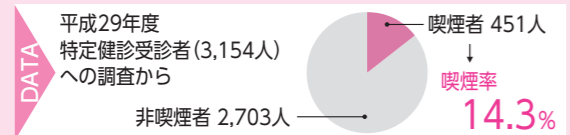
町役場でも敷地内を原則禁煙にする協議を進めています。現在4か所ある役場庁舎の喫煙スペースについて役場総務課の川島隆史係長は「望



※屋外に喫煙専用スペースを設けることも出来るが、設けるには、一定の条件をクリアする必要がある。

## 喫煙者が吸い込む煙と同じくらい周りの人が吸い込む煙は有害

たばこを吸わない人が、他人のたばこの煙（副流煙）を吸うことを受動喫煙といいます。たばこを吸う人がフィルターを通して吸う煙（主流煙）の方が体に悪いと思われがちですが、実は副流煙の方が有害物質を含んでいるため毒性が強く、たばこを吸う人が近くにいれば嫌でもたばこの煙を吸わされていることとなります。皆さんも大切な人のために受動喫煙について知っててください。



ニコチン  
依存症にさせる作用や血液の流れを悪くする作用あり。動脈硬化を促進させる。

タール  
ヤニの成分。発がんを促進する物質が数十種類含まれている。

酸化炭素  
酸素を運ぶ機能を阻害し、酸素不足を引き起こす。動脈硬化を促進させる。

## 加熱式電子たばこは、害が少ない？



加熱式電子たばこは、たばこの葉を燃焼させるのではなく、電氣的に加熱し、ニコチンを含んだ気化物を吸引するものです。紙巻たばこに比べると臭いや煙が少なく、害も少ないと考えられています。しかし、加熱式電子たばこの安

全性は証明されていません。日本禁煙学会によると紙巻たばこ同様に依存性があり、有害物質（発がん性物質）を含んでいることが指摘されています。健康被害の評価はこれからであり、安全性が証明されたものではないことを覚えておきましょう。



町制施行50周年  
記念事業

平成30年度  
邑楽町一日子ども議会

# 中学生

議長・寺家 悠人 議員  
副議長・田中 乃杏 議員

子ども議会の開催は、町民生活と行政の関わりや議会に関心をもってもらうことが目的。子どもたちは広い視野と柔軟な発想から、たくさんの思いを投げ掛けてくれました。

傍聴席から

## 充実した様子に、生徒たちの成長を見た

邑楽南中学校 教諭 須永 綾子先生

緊張の中、議会が始まりましたが「楽しかった」「生徒総会みたい」と充実した表情で終えることができました。参加した生徒は日頃、学校行事の中心となり活躍してくれています。今回、実際に段取りや事前の準備、質問の仕方を体験し、議会がどのようにつくられているのか学ぶことができました。生徒にとって大変貴重な経験となりました。



### 1 半田 いぶき 議員 邑楽中学校(前瀬戸宿・8区) 町の防災対策について

太田断層をはじめとする、邑楽町周辺の断層による大地震が起きた場合、町全体での対策は整っているのでしょうか。また、大地震の際の食糧供給などの物資供給対策は万全でしょうか。

**町回答** 邑楽町地域防災計画に基づいて、さまざまな災害に対処できるよう準備をしています。また、物資供給体制については5か年の計画で備蓄を進めていて、今年が4年目です。計画が終了すると約9,000人分の食糧を備蓄することができます。各家庭では「自助」として3日間程度の備蓄をお願いします。



### 4 田中 乃杏 議員 邑楽中学校(石打・20区) 町のグローバル化について

今、グローバル化が進んでいます。しかし、国内での英語学習には限界があり、英語を習得するには、留学などで生の英語や文化に触れることが必要だと思います。町が学生の留学などを支援することはできませんか。

**町回答** 町では英検の補助や、小中学校における外国語活動の充実を図っています。また今年から「イングリッシュキャンプ」などのイベントも積極的に展開しています。ぜひ参加してください。海外留学などの支援については、今後とも検討していきます。



14~15ページ PickUp

### 2 相波 元気 議員 邑楽中学校(谷中蛭沼・11区) 町の人口減少について

地方の人口減少が問題とされています。やはり、若い世代が楽しめる施設が必要なのではないでしょうか。若い世代向けの施設建設を検討してはいただけませんか。中央公民館ホールの活用などいかがでしょうか。

**町回答** 町では人口減少対策として、子育てのしやすい町をアピールしています。さらに、子育て世代を含めた若い人たちに興味を持って移り住んでもらうための一つの手段として、中央公民館の活用は有効だと考えています。ぜひ、仲間と一緒に今後の活動を考えたり話し合ったりしていただければありがたいと思います。



### 5 帆足 碧夏 議員 邑楽中学校(前谷東原・2区) 町の異年齢間交流の推進について

最近、町で行うイベントは、高齢者のかただけの参加に限られているように感じます。年齢間を問わず、町が一体となって行う、交流し合える活動を増やすことが町の活性化にもつながると思います。

**町回答** おうら祭りや町民体育祭、産業祭などは町を挙げて開催している大きなイベントです。子どもから高齢者まで楽しめる内容となっています。今後、町をさらに活性化させるには、若い世代のアイデアを生かすことも大切だと思います。ぜひ若い皆さんが主人公になれるようなイベントを提案してみてください。



### 3 鈴木 心人 議員 邑楽中学校(谷中蛭沼・11区) 町の環境対策について

町では、ごみ処理で発生した焼却灰の利用をしていないと聞きました。環境対策の一環として建設資材へのリサイクルをしている自治体があると聞いたことがあります。町でもこういったリサイクルはお考えでしょうか。

**町回答** 焼却灰を建設資材へリサイクルするには、受け入れ施設や生産コストなどの問題をクリアしなければならず、現在は埋め立て処理をしています。焼却灰をリサイクルし有効活用することは、環境負荷の低減にも貢献できますので、今後も研究検討を重ねていきます。ごみの減量化にご協力をお願いします。



### 6 清水 亮 議員 邑楽中学校(千原田向地・9区) 農道における農耕車の安全について

私の家は農家です。祖父が農道を農耕車で走っていると一般車両に邪魔にされたり、文句を言われたりするそうです。他の農地でも同じことが起きていると思います。営農者が安全に作業できるような対策はありませんか。

**町回答** 町では、農地の周辺道路も住宅地を通る道路も、どちらも一般的な「町道」として管理しています。したがって、どちらかを規制したり優遇したりできないのが現状です。農耕車両のかたも一般車両のかたも、お互いに譲り合いの気持ちを持った運転を心掛けていただきたいと思います。



### 7 時田 理陽 議員 邑楽中学校(前瀬戸宿・8区) 町のイベントについて

町全体で何か一つのことを行うことが少ないと思います。また、積極的に参加する人が少ないのではないのでしょうか。誰でも簡単にできるものを合わせて、全体で一つの作品をつくるというのはどうでしょうか。

**町回答** 町全体で何か一つの作品をつくるというのは、すばらしい体験になると思います。町では現在、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて「みんなのメダルプロジェクト」に参加しています。その他、現在具体的な計画はありませんが、皆さんから「こんなことをやったら楽しいのでは」というような積極的な提案をお待ちしています。



### 8 寺崎 拓海 議員 邑楽中学校(前瀬戸宿・8区) 町の商店について

最近、町内に薬局が多くできています。しかし、文房具店がありません。学生が学用品を自分で購入しに行けるようになると良いと感じています。今後、文房具店の誘致対策などはありますか。

**町回答** 現在はコンビニエンスストアや100円均一ショップなどで文房具が取り扱われていますが、文房具店や書店などの専門店が町内に一軒もありません。文房具店などの誘致対策は大変重要だと考えています。今後は第6次総合計画などに基づいて、商業の振興について関係機関と連携を図りながら調査研究していきます。



### 9 玉山 真大 議員 邑楽中学校(十三坊塚・6区) 旧邑楽町公民館について

9月1日からの開館記念イベントや今後の中央公民館の活用について、とても楽しみにしています。そこでお聞きしたいのは、旧邑楽町公民館の建物と駐車場が今後、どのように活用されていくのか、ということです。

**町回答** 生涯学習施設としての役割を終えた後は、管理を教育委員会から総務課へ移し、建物は町全体の倉庫として、書類や埋蔵文化財などを保管する予定です。駐車場については、引き続き中野幼稚園の園児の送迎時の駐車場の他、中野小学校や商工会で行事が行われるときの駐車場として有効活用されます。



### 10 小貫 史織 議員 邑楽中学校(前瀬戸宿・8区) ドクターヘリについて

過去に邑楽中学校にドクターヘリが着陸したことがあります。ドクターヘリが着陸できるランデブーポイントとして指定されている場所は町内のどこにありますか。また、それはどのように周知されていますか。

**町回答** 町内のランデブーポイントは、邑楽中学校を含めて11か所が指定されています。その日の天候や風向きによって最適な場所が選択されます。関係機関で共有している情報ですが、町の地域防災計画の中にドクターヘリも含めた「ヘリポート予定地」として記載があります。町のホームページでもご覧いただけます。



### 11 寺家 悠人 議員 邑楽南中学校(店高原・28区) 歩道の整備について

ミートセンターの南の細い交差点は事故が多いので危険です。その付近には歩道が無く、歩行者などの通行に危険を感じています。「狸塚高原」の信号から南へ、歩道の整備についてどのような検討がされていますか。

**町回答** 指摘の交差点は信号の設置に向けて、必要な道路整備の条件などについて関係機関と協議を重ねているところです。歩道については、現在具体的な整備時期は未定ですが、安全に歩けるよう、歩道の整備は必要と考えていますので、道路管理者である群馬県に早期の整備を要望していきます。



### 12 寺島 帆南 議員 邑楽南中学校(水立大黒・23区) 交通安全対策について

街灯がとても少なく暗くなると危険な箇所が通学路にいくつもあります。例えば、ミートセンターの北側の道などは、街灯が少なく見通しも悪く危険です。不審者対策として、街灯の数を増やすことはできませんか。

**町回答** 防犯灯の設置については、地元からの申請を受けて協議し「設置することが有効」と判断した場合に設置をします。住みやすい安全安心な町のために設置するもので、設置したことによる悪影響が出ないよう、今後も地域の皆さんと協議した中で、設置の方法についても考えていきたいと思います。



### 13 阿部 里紗 議員 邑楽南中学校(十三軒・27区) 交通安全について

塀が高く道も細いので見通しが悪いところが長柄郵便局付近にあります。曲がる時、自転車と歩行者で衝突しそうなことがあります。カーブミラーを設置してほしいと思います。

**町回答** ご指摘の場所は信号機があるため、カーブミラーは設置できない決まりとなっています。カーブミラーは安全に通行するための有効な対策の一つです。しかし全ての人々がルールやマナーを守らないと事故は無くなりません。町から事故を無くすためにご協力をお願いします。



### 14 櫻井 大和 議員 邑楽南中学校(店高原・28区) 学校付近の交通事情について

邑楽南中学校北側の国道354号は、交通量がとても多く、信号無視に近い車も見えます。歩行者や自転車が危険なときもあります。こういったドライバーへの対策で、町としてできることはありますか。

**町回答** 町では、交通指導員による街頭指導や交通指導車での巡回指導などを行っています。また、女性ドライバークラブの皆さんは手作りマスクを配布し、安全運転を呼びかける運動を行っています。他には高齢者対象の交通安全教室も開催しています。皆さんも交通安全を心掛けてください。



### 15 外山 楓乃 議員 邑楽南中学校(坪谷・22区) カーブミラーの設置について

青少年広場の西側の交差点にカーブミラーの設置を要望します。北が見通せるカーブミラーだけでも危険が減ると思います。こういった要望は年間に何件くらい要望があって、そのうち何カ所くらい設置されていますか。

**町回答** カーブミラーの設置は、地元からの要望を受けて設置を検討します。しかし、設置できる土地があるかなどいろいろな検討材料があります。現地の状況によっては設置できない場合があります。まずは、地元の役員さんにご相談ください。平成29年度は19件要望があって、14件設置しました。



### 16 杉崎 凱斗 議員 邑楽南中学校(西ノ楨宮内中島・24区) 温水プールの設置について

私は水泳部です。夏以外は町外の温水プールに練習に行くこともあります。町外へ練習に行くのが大変なときもあるので、町に温水プールの設置を希望します。水泳は全身運動なので、町民の健康増進にもつながると思います。

**町回答** プールを設置する計画は今のところありません。しばらくは他市町などのプールをご利用ください。しかし「あったらいいな」と思うことはとても大切なことです。最終的には町民の皆さんが「必要」となれば不可能ではありません。また、健康増進は水泳以外でできることはないか考えてみてください。



日本もグローバル化（国境の壁を越えての交流や交易）が進み、海外との関係がますます密接になってきています。これからの社会を考えると英語教育は必要不可欠な課題です。田中乃杏議員の一般質問から考えます。



田中乃杏 議員  
邑楽中学校(石打・20区)

## グローバルな人材育成 へ努力 ——海外留学やホームステイへの 支援策を検討する

現代社会では、グローバル化が進んでいます。しかし、日本ではいくら英語を勉強しても限界があるように思います。英語を話せるようになるにはやはり海外留学やホームステイなどで、生の英語や文化に触れることが必要ではないでしょうか。

町が小中学生や高校生の、海外留学やホームステイなどの支援をすることはできないでしょうか。



町回答 教育委員会 大竹喜代子 教育長(当時)

今、日本社会はますますグローバル化が進んでいます。その対策として、文部科学省では2020年から小学5・6年生の外国語活動が教科となり、週2時間の授業を行うとしています。小学3・4年生も週1時間の外国語活動が始まります。しかし、これで英語がしゃべれるようになるかというと田中議員の言われるとおり、限界がある

りますよね。やはり、英語力を高めるには、英語を母国語としていた人たちと実際に会話をし交流し、体験を通して慣れることが大切であり、その一つの手段として海外留学やホームステイは有効であると考えます。

かつて町では「中学生国際交流事業」でオーストラリアとの海外交流を実施していましたが、しかし、海外でサーズというウイルス

ス新型コロナウイルスが大流行し、死者も出ましたので、中学生を危険から守るために、中止をしております。その後、海外情勢が不安定となり、やむなく廃止となった経緯があります。町長の理解もいただき復活しようと県内の市町村の情報を集めたりしましたが、海外情勢を考慮する中で、なかなか実施するまでに至りませんでした。そこで町では、英語指導助手や仲間とともにキャンプファイヤーやサファリパーク、博物館などの

見学を通し、英語に慣れ親しむ生活体験をすることで英語力を少しでも高めることはできないかと、今年の夏休みには一泊二日の「おうらイングリッシュキャンプ」を企画しました。町内の小学6年生から中学2年生に募集を呼び掛けたところ、13名の応募がありました。

町が、どのような企画を立ち上げて、参加していただくことがなければ、続けていくことは難しいです。他にも、それぞれの部署でいろいろな事業を展開しています。皆さんが参加で



平成8～19年度まで行われていた中学生国際交流事業。ホスト学生と一緒に授業を受ける

きる事業があれば、ぜひ参加していただき、その上で改善した方がよいことや田中議員のように要望意見を寄せていただいて、よりよい事業を考えていきたいと思っています。

さて、本題のお答えですが、現在の海外情勢はまだ不安定な状況が見られることから、海外留学やホームステイなどについて、町が直接企画することは控えている状況です。

### 英語教育の現在とこれから

町では現在、グローバル化への対策として、①英検3級以上の受験をする中学生への受験料補助、②ALTの全校配置、③中学校英語教諭の小学校授業支援を実施し、少しでもグローバルな人材育成につなげたいと努力しております。

個人的に海外留学やホームステイをする中高生への支援については、社会の状況やその有効性を研究し、今後の検討事項に加えていきたいと考えます。

田中議員には、高校生になって自分自身をグローバルに成長させる意欲を持ち続けて、頑張りたいと思います。

### 平成26年度から続く ALTを町内小中学校の全てに配置



ALTの全校配置で、本物の英語に触れる活動が盛んに

ALT(外国語指導助手)は英語を母国語とする人で、先生の補助をする役割を持つ人です。

The point of speaking English well is repeating your teacher's English! Anytime, you should try to speak English loudly! Don't be afraid of making mistakes!

英語を上手に話すコツは、先生の英語を繰り返して言うこと。いつでも大きな声で英語を話すようにしましょう！間違いなんか恐れないで！

長柄小学校でALTを務める  
レオナルド・パロウ先生(カナダ出身)



### 英語学習に取り組む子どもたちを応援 英語技能検定料の助成

町教育委員会では、英語力と学習意欲の向上を目的に、中学生の実用英語技能検定料の助成をしています。

- ▶対象者 町内に住所のある中学生の保護者
- ▶対象になる検定 (公財)日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定1級から3級
- ▶助成金額(上限) 3,800円
- ※中学生1人につき、年度内1回まで。
- ※予算の範囲内に限る。
- ▶申請方法  
町立中学校で団体受験する場合 受験後、中学校に所定の申請書を提出する  
町立中学校以外で受験する場合 所定の申請書に検定料領収書の写し、個人成績表の写しを添えて、町教育委員会学校教育課に申請する
- ※申請書は、町のホームページまたは町教育委員会学校教育課にあります。
- ▶申請期限 平成31年3月29日㊟
- ▶問合せ先 町教育委員会学校教育課☎47-5041

### おうらイングリッシュキャンプ

## What do you mean? (どういうこと?)

8月22～23日の1泊2日、東毛青少年自然の家(太田市薮塚町)で「おうらイングリッシュキャンプ」を開催。小中学生12人が2日間英語を楽しみました。今回が初めての試みで、学校の授業では味わうことができない英語活動を通して、英語に対する興味を高め、コミュニケーション能力の向上を目指しました。プログラムはピザ作り、レクゲーム、キャンプファイヤー、サファリパーク見学などで、全て英語で進められました。子どもたちはドキドキしながらも、教えてもらった英語を一生懸命に使い、チャレンジしていました。

